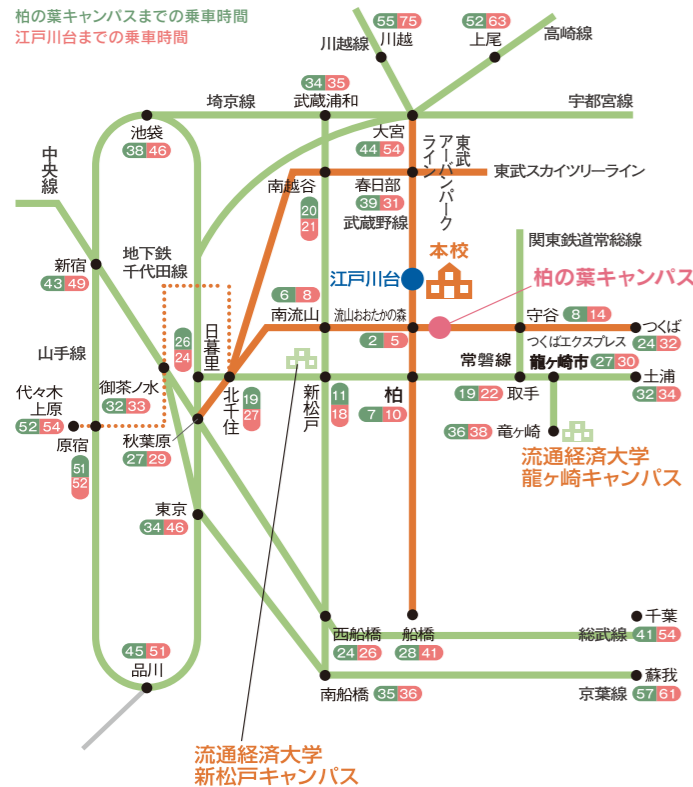
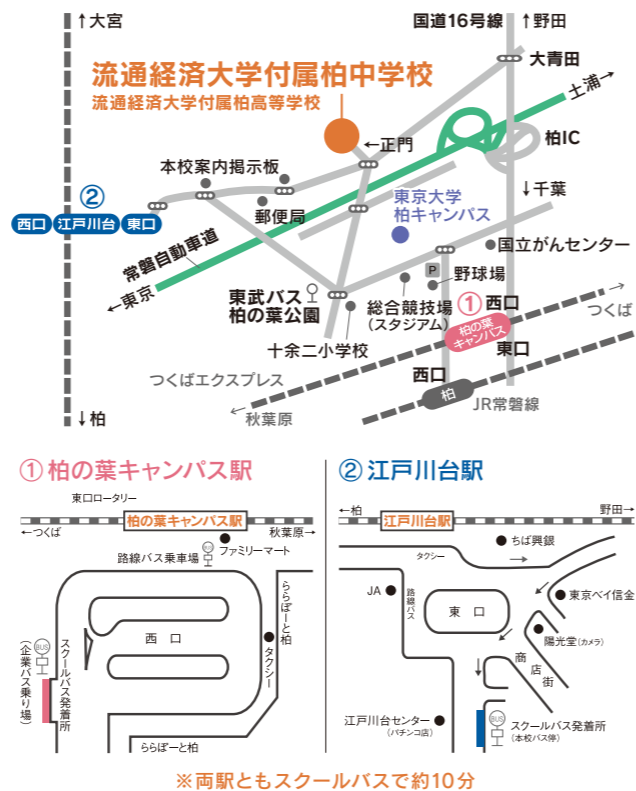


ACCESS MAP



SCHOOL BUS



募集定員
1学年
140名

開校

2023.4

流通経済大学付属柏中学校

未
来
を
つ
か
む
の
は

[2023年度 生徒募集] 小学生・保護者対象説明会(予定)

中学校学校説明会【学年不問】

- 6月11日(土)
- 7月9日(土)
- 8月27日(土)

中学校体験・見学会(オープンスクール)【学年不問】

- 7月23日(土)

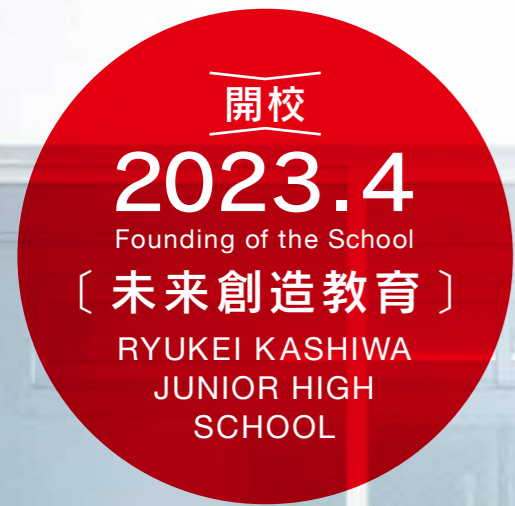
中学入試説明会【6年生限定】

- 10月10日(祝・月)
- 10月29日(土)
- 11月13日(日)
- 11月27日(日)
- 2023年1月7日(土)

※受付9:00～ 開始10:00～ ※参加者はHPより予約をお願いします。 ※保護者のみの参加も可能です。
 ※つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅(西口)」および、東武アーバンパークライン「江戸川台駅(東口)」よりスクールバスを運行します。[9:05/9:30]
 ※諸般の事情により変更する場合がございます。HPにてご確認ください。

学校法人 **RKU** 流通経済大学付属柏中学校開設準備室
 日通学園 KASHIWA
 〒277-0872 千葉県柏市十倉二1-20 流通経済大学付属柏高等学校内
 TEL:04-7131-5611 FAX:04-7131-4553 <http://www.ryukei.ed.jp/>





何色にも染まっていない学校に色をつけるのは、あなたたち

これからの時代を生き抜くポジティブでたくましいココロとカラダを育てていく。そのための新しい学校、流通経済大学付属柏中学校が2023年春、いよいよスタートします。まだ何色にも染まっていない学校だからこそできる新しい学び(ワクワク)と体験(ドキドキ)を通して、生まれたばかりの学校に「色」をつけるのはあなたたちです。



Principal's Greetings

校長 赤城政広
AKAGI Masahiro

生徒と教師が、同じ気持ちを持ちながら響きあうことのできる学校です

1985年、学校法人日通学園 流通経済大学付属柏高等学校として開校以来、「智識(智慧と見識)の涵養と真利探究の精神を培い、日本的教養と国際性を身につけながら、正義、誠実の心と勇気ある気質を育てる」という教育方針の下、リーダーとして国際社会に貢献できる社会有為の人材の育成に努めてまいりました。

21世紀に入り20年以上が経過しましたが、わが国を取り巻く社会情勢は著しく変化し、今後も社会は大きく変わっていくことが予想され、次世代を担う人材の育成はますます重要な課題となっていきます。

世界は新型コロナウイルス感染症問題がさらに拍車をかけ、今までとは異なる「ニューノーマル」の時代に突入しています。IT技術やAIの発達によって、社会全体に変化が生じ、学校教育の在り方も変わっていくと考えられます。10~20年後には、日本の労働人口の約半数が人工知能やロボットなどに代替可能と発表している研究機関もあります。それ故に、未来を力強く切り拓く力を持った生徒を育成する必要があります。

本学園が2023年度4月に中高一貫教育をめざす「流通経済大学付属柏中学校」(設置認可申請中)を開校しようとしているのは、将来を見据えた新たな教育「未来創造教育」を実践するためです。人間の能力が最も発達するこの時期(中学校時代)に、失敗を恐れず、トライ&エラーを繰り返すことで自身を成長させ、社会の変化に柔軟に対応

できる知識と能力を身につけ、「夢の実現」に向けて常に前向きに精進してほしいと願っております。

安全安心を第一に考え、生徒たちが学校生活を毎日楽しく送れるように、生徒、教員、保護者、さらには地域住民の方々にも協力を得て、皆が一体となって、まだ何色にも染まっていない、未来に向かった新しい学校づくりを一緒に志していきましょう。





豊かな時がここからはじまる

2023年4月、60年に及ぶ歴史と伝統を有する日通学園が、文武両道の活躍で高い実績を誇る流通経済大学附属柏高等学校との中高一貫をめざす「流通経済大学附属柏中学校」を開校します。

教育の特色として掲げる、グローバルコミュニケーション教育、ICT共創教育、流经リーダーシップ教育の三つを融合させた「未来創造教育」により、将来、日本や世界の礎となって活躍できる有為な人材の育成を目指します。

中高での6年間は、一貫校のメリットと流通経済大学の附属であることのメリットを最大限に活かした教育メソッドで、確かな学力と人間力を身につけ、国公立大学や難関私立大学への現役合格を目指します。また、芸術やスポーツなど、自分の特技・特長などを活かす学部を有する大学への進学希望者に対しては全力でサポートします。

未来
新しい時代を
創造
切り拓く
教育
若者を育てる

グローバル企業の理念と大学の教育理念に基づく中高一貫校

日本通運(NX)株式会社の「社会に貢献し、豊かな未来を創る」という企業理念と、流通経済大学の「世界に雄飛する社会有為な人材の育成」という教育理念をバックボーンに、独自の教育プログラムを展開します。

学校像

主体性を持って未来を切り拓き、グローバル社会で組織のリーダーとして活躍できる生徒の育成

生徒像

社会の変化に柔軟に対応できる豊富な知識と能力を身につけ、高い志を抱いて未来を切り拓く生徒

教育の3本柱



日通学園との連携・サポートによる“特別な体験・学び場の創出”

日本通運株式会社の未来人材育成事業との連携

附属柏高校でも実績ある流经大との授業・教育企画連携

職場体験

国内外の施設見学

国際・社会貢献活動体験

講師派遣

キャリア教育支援

国際交流支援

講座開講

教員・学生派遣

施設提供

教職員研修

中高一貫教育プログラム

——理想の6年間がここにある——

何もかもが初めての取り組みだからこそできる思いきったチャレンジ。そこから生み出されるものが、流経大柏中学の歴史を作り上げていきます。新しい学校しか持ち得ない特別な雰囲気の中、色も模様もない真っ白な地図に、仲間たちと未来を描いていく。そんな6年間をパイオニア（開拓者）であるあなたたちとともに歩んでいきたいと思えます。



中高一貫教育の先取り学習で絶対合格

本校では6年一貫教育の利点を最大限に活かし、先取り学習を実施。特に英語・数学・理科は中学の学習内容を早めに終え、高校の内容にも入ります。高校3年次からは共通テスト対策演習等、大学受験に向けた様々な演習や講座で、生徒一人ひとりの志望大学に合わせた授業を行っていきます。

難関国立大学や難関私立大学への現役合格を目指します。

国公立大学・難関私立大学現役合格を果たすことのできる学力の向上とともに、生徒自身が将来を見つめるためのキャリア教育にも力を注いでいきます。



高校の進学実績 【主な大学】

東京大学・一橋大学・東京工業大学・大阪大学・九州大学・東京外語大学・筑波大学・千葉大学・埼玉大学・東京学芸大学・東京藝術大学・早稲田大学・慶應義塾大学・東京理科大学・上智大学・学習院大学・明治大学・青山学院大学・立教大学・中央大学・法政大学・流通経済大学 など

将来を見据える充実したキャリアガイダンス

語学教育に力を入れてきた本校のキャリア教育は常にグローバルな視点を求めます。そして、将来の目標を持ち、叶えたいという意志、想いを行動にする実行力を育みつつ、受験指導を行う。これが本校の進路指導です。広く社会を学び、6年後の大学受験だけではなく、その先に続く未来に、確かな目標を持って歩み続けることのできるグローバルリーダーの育成を目指しています。



中高一貫のカリキュラムデザイン

学 年	← 基礎力養成期 →		← 実力養成期 →		← 完成期 →	
	1年生(中1)	2年生(中2)	3年生(中3)	4年生(高1)	5年生(高2)	6年生(高3)
6年一貫の指導について	基本的な知識の吸収とともに、方を身につけさせ、何事にもいきます。実際の授業では、ICTさせ、探究型の興味を高める探し出す力を育てます。また、意識させて、全体のレベルアップを図ります。	この時期に必要な考え方や学び主体的に取り組む姿勢を養って活用しながら好奇心を高め指導を行い、自分の力で答えを互いに協力して取り組むことを図ります。	これまで身につけてきた基礎力を土台にして、より様々な角度から物事を考察する力や、豊かな発想力でより深い考え方を育てていきます。この時期からはワンランク上の知識や情報を吸収することで、高い目標を設定し、自分の可能性に向き合いながら、チャレンジ精神を育てていきます。また、「振り返り」も大切にし、ここまで吸収してきた知識を総ざらいし、足元をしっかりと固めながら次のステップへ進みます。	これまで養ってきたそれぞれの能力を最大限に発揮し、より専門的な学問への取り組みへとつなげ、自分の目指す進路を開拓していきます。カリキュラムとしては文系・理系の別はありますが、「社会に出て貢献できる人材」という大局的な視点を失わないようにしていきます。「どこに進学したか」という以上に、「そこで何をやるのか、何ができるのか」という、自分の将来の設計図を明確にしたうえで、それぞれが掲げた目標の実現に取り組みさせていきます。		
学習進度	中学履修範囲		高校履修範囲			受験対策
クラス編成	通常 クラス		習熟度展開		理系・文系クラス	
総合学習等	「未来を生きる力を身につける」 自分を知る／環境問題について考える／国際理解を図る／福祉や健康を考える等					

国公立・難関大学等進学へ

流通経済大学附属柏中学校 ～高等学校一貫カリキュラム

	1年生(中1)	2年生(中2)	3年生(中3)	4年生(高1)	5年生(高2)	6年生(高3)	
				共通	文系	理系	
1	国語	国語	国語	現代の国語	論理国語	論理国語	
2				言語文化	古典研究	古典研究	論理国語
3					選択国/数B	古典研究	古典研究
4	社会	社会	社会	歴史総合	地理総合	文学国語	
5					地理総合	数学Ⅱ	数学Ⅲ
6	数学	数学	数学	公共	日本史探究 世界史探究	古典研究	
7				数学Ⅰ	数学B	選択国/数B	数学C
8					倫理	物理基礎	化学
9	理科	理科	理科	数学A	数学Ⅱ	日本史探究 世界史探究	
10						物理基礎	政治・経済
11	音楽 音楽/美術	音楽 美術	音楽 美術	化学基礎	物理基礎	化学	
12							生物基礎
13	美術	美術	美術	生物基礎	体育	体育	
14							体育
15	体育	体育	体育	体育	保健	保健	
16							技術家庭
17	英語	英語	英語	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	
18					英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ	論理・表現Ⅲ
19	英語	英語	英語	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ	論理・表現Ⅱ	
20					論理・表現Ⅱ	論理・表現Ⅱ	総合探究 HR
21	道徳	道徳	道徳	情報Ⅰ	家庭基礎	家庭基礎	
22					特別活動	特別活動	特別活動
23	特別活動	特別活動	特別活動	情報Ⅰ	家庭基礎	家庭基礎	
24					総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間
25	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合探究 HR	総合探究 HR	総合探究 HR	
26					総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間

[予定]

実践的な学力の習得を目指す

[各教科のご紹介]

英語

ENGLISH

英語で「考え」、 「伝える」力を伸ばす

英語担当 横山 真梨 先生
YOKOYAMA Mari

英語の習得は、スポーツに似ていると言われます。体を鍛えるだけでは、色々なスポーツの種目をこなせるようにはなりません。その競技の練習をして実践をこなすことで初めてできるようになります。英語も同じで、知識だけ詰め込んでも使えるようにはなりません。覚えたものを使うことで、英語で「考え」、そして「伝える」ことができるようになります。そのための土台作りをしっかりと行い、自分の可能性を大きく広げてほしいと思います。

— どうして英語が大切なのか —

英語は世界人口の21%、約15億人の人々に使用されています。英語を第1言語とする国は12カ国、公用語・準公用語とする国は50カ国もあるのです。これだけたくさんの人たちとコミュニケーションが取れるようになれば、それだけ「自分の世界」も広がりますよね？英語を学ぶこと、話せることで世界が広がれば、皆さんの可能性も大きく広がります。だから、英語は大切なのです。



英語を身につけるための4つのポイント

①しっかりと発音を身につける

しっかりと発音を身につけるのはなぜか。それは相手に伝えることはもちろん、リスニング（英語を聞き取る力）にも直結するからです。正しい発音ができるようになるということは、その音を覚えているということです。つまり、英語を聴く時にも音声をしっかりとらえることができるということなのです。そのため、本校では標準的な発音を皆さんに教えます。

②文法+語彙=英語の土台

正しい発音を身につけた次は、それを使ってコミュニケーションを取るため、授業では文の構造や語順（文法）と語彙を学びます（その際、日本人が苦手とする「look」「watch」「see」などのニュアンスの違いなどにも触れます）。その後、英文の意味を理解して、例文を繰り返し音読することで「英文の型」を頭に染み込ませます。さらに、その英文を「瞬間英作文（ライティング）」し「実際に使える英語」へと発展させます。

③「聴く」と「話す」は、ワンセット

リスニング力を上げるため、「英語をたくさん聴くこと」に加え、3つのトレーニングを行います。まず、聞いた音声を書き取る「ディクテーション」を行い、英文の意味や文法を確認して「音読」を繰り返します。次に、音声と一緒に英文を音読する「オーバーラッピング」を実施。そして耳だけを頼りに音声を追いかけるように発音する「シャドーイング」を行います。大切なのは「リズムとテンポ」。この取り組みを積み重ね、リスニング力をアップさせます。

④「アウトプット」の大切さ ～オンライン英会話の導入～

身につけた（身につけつつある）英語の力を「使える英語」へと発展させるために必要なのは「アウトプット」にほかなりません。そこで本校では英語をアウトプットする実践の場として「オンライン英会話」システムを導入します。オンラインを通じて皆さんとコミュニケーションを取るのには、海外で英語力を磨いた講師陣。時には思うように言葉が出ないこともあるかも知れませんが、その経験こそが何にも代えがたい上達への近道となるのです。

普段の授業、2本の柱

[様々な音読活動]

授業には2つの柱があります。ひとつは「音読」。音読は英語の学びに欠かせない学習方法ですが、ただ繰り返し読むだけでは高い効果は望めません。大切なのは、英文の構造や意味をしっかりと理解した上で様々なバリエーションの音読を行うこと。授業では一文一文を「強い声で意味を考えながら読む」ことを大切に組み、頭の中に多くの英文をインプット。「英語の基礎」を染み込ませます。

[ラウンド方式の授業]

本校の目指すところは「骨のある、確実な英語力を身につけてもらうこと」です。それを成し遂げるためにも授業では教科書の内容を複数回繰り返す「ラウンド方式」の授業を行っていきます。例えば、ひとつの英文を違った角度から学習することでひとつの英文に対する理解度は深まり、解釈の幅も広がります。そしてそういった学びの積み重ねが、将来役に立つ「骨太な英語力」の獲得につながるのです。

教科書から 抜け出した本物の 異文化体験

海外修学旅行

中学校の修学旅行は3年次2月にシンガポール及びマレーシアで検討しています。現地の国立大学、現地の中学校との交流、日本企業の海外支社見学を中心に意義ある、また楽しく思い出に残るプログラムを計画しています。3年間で身につけた英語力を試す絶好の場になることは間違いありません。





数学

MATHEMATICS

「おぼえる」ではなく「理解する」数学

数学担当 萩原拓真先生
HAGIWARA Takuma

数学では、結果に到るまでのプロセスをしっかり考える力が大切です。その力は知識をただ覚えるだけでは身につけません。覚えた知識を活用して原理を理解していくという頃からの努力が重要なのです。授業での座学、問題演習、グループワーク、ディスカッション等を通じて一緒に楽しく、そして深く数学を学んでいきましょう。

数学的に考える資質と能力を育てる

「数学は計算すること以外、普段の生活とはあまり関係ない」と考えていませんか？それは違います。数学で問題を解く、答えを導き出すという過程は、実は人の「論理的思考力を養うこと」に直結するのです。「論理的思考力」とはつまり「問題解決能力」のこと。数学においてそのために必要なのが、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識と技能を身につけることなのです。それらの知識と技能は、いわば問題解決のためのアイテムです。そのアイテムを活用して思考力、判断力、表現力を育めば、人間力もグンとアップしていきます。

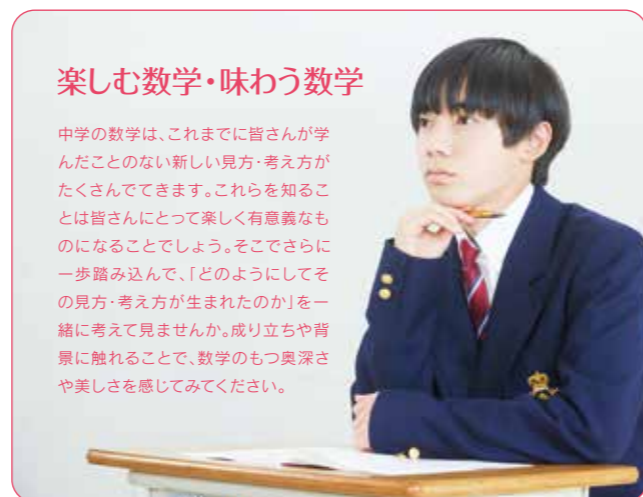
そのための授業展開とは…

主体的に学ぶこと、そして思考力の向上に向けて、本校の数学はディスカッションやグループワークを積極的に行う“楽しい学び”を展開します。また、数学と普段の生活を結びつけるために生活に即した現象を取り上げ、「数学的思考能力」で解決へと導く過程を仮想体験してもらいます。加えて、ICT機器を用いた数学の現象などを学んだ

り、「物の構造」などを実際に見て・触れて理解を深めるほか、教室から外へと飛び出した「フィールドワーク」を行うことで「数学と実社会」の関係性を理解しながら「数学的思考能力」を養っていきます。

楽しむ数学・味わう数学

中学の数学は、これまでに皆さんが学んだことのない新しい見方・考え方がたくさんできます。これらを知ることが皆さんにとって楽しく有意義なものになることでしょうか。そこでさらに一歩踏み込んで、「どのようにしてその見方・考え方が生まれたのか」を一緒に考えて見ませんか。成り立ちや背景に触れることで、数学のもつ奥深さや美しさを感じてみてください。



国語

JAPANESE

未知なる課題に対峙できる言語力を養う

国語担当 田部 玲先生
TABE Rei

私たちは常に“ことば”を用いて物事を捉えています。また、これから皆さんは世界の様々な課題に向き合っていく必要があります。そのためにはことばを正確に扱う力が不可欠です。中学校ではまず、古今を問わず多くの優れた文章に触れることで感性を磨きながら、社会を俯瞰する視点を持ってもらいたいと考えています。そして自らが考えたことを適切に表現・発信するという機会を通して、課題解決のための土台となる力を築いてもらいたいと考えています。また、本校での様々な取り組みを通して、国語力というのが、極めて横断的な力であることを実感してほしいとも考えています。

たくさんの“ことば”をもった生徒を育てたい

SNSなどの普及によって、非言語コミュニケーションが発達した現代社会だからこそ、“ことば”と対峙する機会を多く持ってもらいます。学びにおいてはテクニカルなことに走らず、基本的な漢字や語彙を自在に操る力、自ら本を手取る姿勢、文章に向き合う習慣を身につけた上で、段階的に読解技術を習得。加えて様々な表現活動（ビブリオバトルやティベートなど）を通じて「伝える力」と「論理力」を磨き、国内外、分野を問わず活躍できるための素養（＝国語力）をもった生徒を育てます。

合い言葉は「活動なくして学びなし」

アクティブ・ラーニングを主体とした授業展開で「ことば（言語）を扱う楽しさ」を実感してもらいます。授業では毎回、「思考」と「表現」の機会を用意、生徒の個性と向き合い、それを伸ばしながら、一人ひとりが確かな根拠に基づいた思考ができるように育てていきます。

国語力を育てる、5つのメソッド

確かな読解力を持ち、物事を論理的に思考し、それを表現することができる本当の意味での「実用的な国語力」を身につける。そのために「読む」ことを基本に「書く」「聴く」「話す」の4技能を横断的に育成するのが本校独自の、“5つのメソッド”です。

①読む

毎日の朝読書を通して活字に触れ、本に親しむ習慣を身につけます。この時、教員も一緒に朝読書を行うことで生徒と時間と空間を共有し、一日の学びに向かう姿勢と雰囲気を作り上げます。

②読む×書く

『社説ノート』を活用して100字要約を行い「事実」と「意見」の切り分け方法を学びます。また読書感想文や小論文コンテストを開催、仲間とお互いを高め合う機会を設けます。さらには人文学、自然科学、社会学など広い分野の課題図書や小論文の取り組みを通して社会や理科、数学など他教科との横断的な学びを実践します。

③読む×聞く（観る）×書く

古典の授業では歌舞伎、能、狂言など古典芸能に触れる機会を多く設けます。いずれも事前学習を行った上で、劇場で古典芸能を体感し、鑑賞後はレポート作成・発表を行います。「劇場での鑑賞＝本物に触れる」ことで文化継承の大切さを感じてもらいたいとも大きな狙いです。

④読む×話す×聴く

授業でビブリオバトル（自分の気に入った本の魅力を紹介し合うゲーム）やティベートを実施するなど、人に伝える機会、人の話を聴く機会を多く用意します。そこで「発信する側」としての表現方法やことば選びを学びつつ、「話の受け手」としての態度と聴く力を養います（それらはやがて他者理解へとつながります）。

⑤“無理はさせない充実した古典学習”

中1の段階から百人一首の音読や漢文の音読を行うことで、古典に対する“敷居を低くする”とともに、古典の文章感覚を無理なく頭に染み込ませます。中学の古典学習は高校古典の基礎構築が大きな目標です。無理なく充実した学習とするため、年に一度、学びと遊び感覚を両立させた百人一首大会（団体戦）を開催します。



理科 SCIENCE

興味・関心に根ざした、
高度な思考能力を
身につける

理科担当 兼 龍盛 先生
KANE Ryusei

「どうして雨が降るの?」「なぜウイルスは収まらないの?」「ドローンはどうして飛べるの?」といった、身近な事象・現象に関連して湧いてくる「なぜ、?」「どうして?」という多くの疑問を大切にできることは、理科の学習の一番の出発点です。自然科学の“秘密”を解き明かすために必要な、好奇心に裏打ちされた高度な数理的思考能力を養うと同時に、複雑化している社会の様々な問題に科学的な思考をもって対峙しようとする態度を身につけます。

興味・関心に根ざした、高度な思考能力を身につける

理科の出発点は「なぜ?」「どうして?」という多くの疑問です。「どうして雨は降るの?」「なぜウイルスは収まらないの?」といった身近な事象・現象もそのひとつ。そういった“なぜ、なに”を考え、その仕組みや“秘密”を解き明かすため、科学への興味・関心に裏打ちされた高度な数理的思考能力を養うと同時に、科学的な思考を持って複雑化している社会の様々な問題・課題に対峙しようとする態度を身につけます。

基礎力養成期

生物と地学を入口に、理科への興味を喚起する

生命現象と地学現象は様々なスケールで関連しています。そこで起こる科学現象の関連性の理解をテーマにした、実験観察中心の学びを展開。「そうだったんだ!」といった発見や驚きを大切にすると同時に、それらの現象を論理的に説明する力を育てます。

数理的思考力の基礎を築く

「図形」や「単位あたりの量」「比・割合」といった算数の主な単元は、中学・高校で学ぶ理数科目の根幹となる重要な要素です。それら基礎的部分の構築を独自のプログラムで展開し、ハイレベルな数理的思考力のベースを作り上げます。

実力養成期

化学と物理の学習がスタート! 目に見えない世界への“洞察力”を磨く

中3～高1の実力養成期は、原子や分子、力やエネルギーといった抽象的な概念を、具体的なイメージとともに理解していくステージとなります。中高一貫の連続的なカリキュラムを活かし、高校化学・物理につながる下地作りを行います。

理科と関連した工学を学び、科学技術への関心を高める

中学・高校で学ぶ理科は身の回りの様々な製品作りに活かされています。エンジニアリングに関連した総合学習プログラムを授業と並行して実施し、光や音の性質、力学や電磁気学の法則を活用した工作に親しみながら創造力や問題解決能力を育みます。

完成期

課題解決型の実験・実習に取り組み、 大学入試に対応する思考力を養う

すべての理科科目において、与えられた課題について自ら実験を考察する課題解決型の実習を各単元の終わりに設定し、知識の活用と思考の涵養をメインテーマに学習を進めます。大学入試基礎を先取りし、高3は演習や実習中心の講座を展開します。

探究論文への取り組みを通じて、 科学への好奇心と学習意欲を刺激する

高校特進コースでは、総合探究活動の一貫として自らテーマを設定した論文を作成しています。中高一貫生は、6年一貫ならではの余裕あるカリキュラムのもと、この取り組みをさらに拡充。各種科学論文コンテストにチャレンジする生徒をサポートすると同時に、定員が拡大傾向にある総合選抜型の大学入試にも対応していきます。



社会 SOCIETY

生徒一人ひとりの
可能性を大切にする

社会担当 佐藤 良尚 先生
SATOH Yoshinao

科学技術の進歩や自然環境の変化によって社会は急激な変化を遂げ、数年先の社会情勢の予測も困難な時代にあつて、社会科では「変化する社会に柔軟に対応できる力の育成」を目標に掲げ、様々な教育プログラムを通して生徒の社会探究心を高めます。自らが問いを立て、協働して解決に向かうグループワークを通じて、社会との関わりを実感し、社会・環境問題への関心を深め、その解決のために自分がどうすればよいかを主体的に考えられる生徒の育成をめざします。

現代社会で主体的に活動できる人材を育成

現代社会を多面的・多角的に捉える能力を養い、自ら思考して諸問題を発見し、それらを解決するために主体的に活動できる人材を育成します。その一環としてICT機器などを活用し、情報技術と能力を身につける一方、高校での学習がスムーズに行えるための基礎を築きます。

基礎力養成期

充実した現場学習プログラムと、情報活用技術の習得を目指す

地理の授業では国土地理院へ、歴史の授業では歴史博物館、公民では裁判所や証券取引所といった実際の現場を事前学習を踏まえた上で見学・体感することで、社会に対する興味・関心を高めます。同時にICT機器やソフトウェア教材を駆使して生徒が主体的に参加できるAI型授業を展開、問題解決能力を育成します。

実力養成期

五感をフル活用した体感的授業と、 流通経済大学とのコラボレーション授業

多感な中学期に歌舞伎や茶道など日本の伝統や文化に触れる独自の体験型プログラム(社会科教員が考案)を実施します。また、付属校の利点を活かして流通経済大学の法学部、経済学部、社会学部と連携し、大学教授陣による出張授業や大学キャンパスを訪問しての講義受講、さらには大学生とのグループワークなどを実施。大学での学びや進学イメージを増幅させて意欲を向上させます。

完成期

他教科との連携によるクロス・カリキュラム

例えば修学旅行や海外留学の事前学習をターゲットに、国語や英語などの各教科と連携してひとつの題材を扱うことで各教科の学びの幅と奥行きを深めるなど、深度のある教育を追求します。また、大学受験に備えるこの時期は、生徒の希望進路の実現に向け、放課後や夏期・冬期休業期間中に「受験対策講習」を実施、生徒の受験を学校全体でサポートし、バックアップしていきます。

SCHOOL DAYS 生徒の1日

流通経済大学附属柏中学校には 充実した3年間があります。

仲間と過ごす時間は かけがえのない宝物。
充実したスクールライフを紹介！ 部活動と勉強を両立できる環境があります。



授業だけでは学べない大切な時間があります。 学校行事

多角的に展開するイベントと、心身を豊かに育む体験が繰り広げられます。

- 4 April** | 始業式・着任式 | 入学式 | 新入生歓迎会 | 健康診断 | 新入生オリエンテーション | 外部実力試験 | 避難訓練 |
- 5 May** | 学級父母懇談会 | 父母の会総会 | 1学期中間考査 |
- 6 June** | 体育祭 | 校外学習(2・3年) |
- 7 July** | 1学期期末考査 | 三者面談期間 | 夏期講習 |
- 8 August** | 夏期講習 | 2学期始業式 | 海外語学研修(希望者) |
- 9 June** | 流輝祭(文化祭) | 外部実力試験 |
- 10 October** | 2学期中間考査 |
- 11 November** | 校外学習 |
- 12 December** | 2学期期末考査 | 三者面談期間 | 冬期講習 |
- 1 January** | 外部実力試験 |
- 2 February** | 海外修学旅行(3年) | 校外学習(1・2年) |
- 3 March** | 学年末考査 | 卒業式 | 修了式・離任式 | 春期講習 |





Club activities

目標をもってやりとげることで強くなる

運動部 CLUB ACTIVITIES [SPORTS CLUB]

- 男子サッカー部 / 女子サッカー部 / ラグビー部 / 硬式野球部(高校) / 軟式野球部(中学) / 柔道部 / 剣道部 / 駅伝部 / 新体操部 / チアリーディング部 / 男子バスケット部 / 女子バスケット部 / 男子バレーボール部 / 女子バレーボール部 / 男子テニス部 / 女子テニス部 / バドミントン部 / 弓道部 / 卓球部 / 応援指導部(臨時編成)

仲間と一緒に打ち込むことで絆もより深まる

文化部 CLUB ACTIVITIES [CULTURE CLUB]

- 吹奏楽部 / 書道部 / 放送部 / 演劇部 / 文芸部 / 茶華道部 / 美術部 / 軽音楽部 / 箏曲部 / 競技かるた部 / ESS / 将棋同好会 / STC(科学部) / プログラミング研究会

高校の進学実績

一橋大、東京工業大、大阪大をはじめ国公立大学に合格。
早慶上理、GMARCH、その他有名私大にも多数合格。

本年度も一橋大、東京工業大、大阪大をはじめとした国公立大学や有名私立大学にも多数合格し、進学実績は伸びています。

過去3年間の大学合格実績 ()内の数字は過年度卒業生(内数)

国公立大学

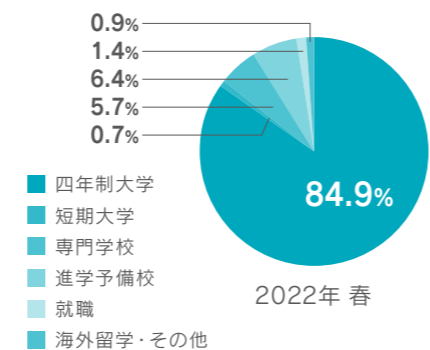
大学名	2022	2021	2020	2019	2018
東京大学					1(1)
東京工業大学	1(1)		1(1)		1(1)
大阪大学	1				
九州大学					1
一橋大学	1		1		
お茶の水女子大学	1	1			
千葉大学	4(2)	1	1	2(1)	2
埼玉大学		4	1	1	2
筑波大学	2	3	4	1	5
東京学芸大学	1	1			
東京外国語大学	1		1		
東京海洋大学	1		1		1
電気通信大学				2	1
東京農工大学	1				1(1)
横浜国立大学		1(1)			
茨城大学	2	3	2	3(1)	
金沢大学		1(1)			
信州大学			1		
岩手大学					
宇都宮大学	2(1)				
愛媛大学	1				
北海道教育大学	1	1			
帯広畜産大学			1		
埼玉県立大学			1	1	
東京都立大学	1				
高崎経済大学	1				1
千葉県立保健医療大学			1		1
横浜市立大学				1	
合計	22(4)	16(2)	17(1)	11(2)	17(3)

私立大学

大学名	2022	2021	2020	2019	2018
早稲田大学	8(3)	2	4(1)	1	6(1)
慶應義塾大学	1				2(1)
上智大学	7	1	2		1
東京理科大学	15(2)	8(1)	2(1)	1	7(1)
学習院大学	14	5	10(2)	4(1)	9
明治大学	11(1)	9(1)	12(4)	4	10(1)
青山学院大学	3	5	4(2)	5	8
立教大学	13(3)	15(2)	4	2	7
中央大学	8	5(3)	6(2)	5(3)	3
法政大学	10	13	12(2)	10(2)	16(1)
同志社大学	1(1)				
立命館大学	1	2(1)	3(3)	1	1
亜細亜大学	5	3(1)	1	1	2(1)
跡見学園女子大学		5(1)	3	6	5
桜美林大学	5	4	5	2	1
大妻女子大学	8	3(1)	8	7(1)	8
学習院女子大学	3		2	3	1
神奈川大学	2	1(1)		1(1)	3(1)
川村学園女子大学	2	4		1	4
神田外語大学	10	10	4	7	5(1)
北里大学			4		1
京都女子大学		2			
共立女子大学	5	4	3	5	3
杏林大学	6	2	4		
近畿大学			1(1)		1
工学院大学	1	2	2	3	
國學院大学	5	5(3)	4(1)	3	5
国際医療福祉大学	2	1	1		
国士館大学	9(1)	7	7	4	3
駒澤大学	13	4(2)	5(2)	3(1)	5
埼玉医科大学			1		1(1)
実践女子大学	6	9(1)	6(1)	3	
芝浦工業大学	8	3	4	6(1)	6(1)
順天堂大学	6	3	1	1	2
城西大学	2	1		2	2
昭和女子大学	7	6(2)	3	5	6
女子栄養大学	1	2	2	1	1
白百合女子大学		2		1	
成蹊大学	6(2)		1	1	3
成城大学	8(1)	4	6(2)	2	5(1)
聖心女子大学	2	3	3	1	1
清泉女子大学			2(1)	4	3
聖徳大学	4	5	16	2	4
専修大学	7	4	3(2)	8	5(2)
大正大学	1	4(1)	1	4	
大東文化大学	2	7(2)	1(1)	1	2(1)

大学名	2022	2021	2020	2019	2018
拓殖大学	8	4(2)	5(1)	2	3(1)
玉川大学	1	2	6	2	2
千葉工業大学	10	19(3)	15	1(1)	6(1)
帝京大学	17	11	11	5(1)	8(1)
帝京平成大学	13	4	1	9	7(1)
東海大学	4	3	12	2	1
東京医療保健大学	1	1		2	
東京家政大学	7	6	3	4(1)	6
東京経済大学	3	2(2)	2(1)	1	1
東京女子大学	2	1		1(1)	
東京女子医科大学				1	2(1)
東京電機大学	6	6(1)	6	2	7
東京都市大学	3	3	1	1	
東京農業大学	7	8(1)	13(1)	2	4(2)
東邦大学	12	7	8	7	4(2)
東洋大学	40(3)	9(4)	18(3)	20(2)	17(4)
獨協大学	17	15	12(4)	12(1)	11(1)
日本大学	34(4)	22(5)	28(7)	27(1)	23(6)
日本獣医生命科学大学	1	1			
日本女子大学	4	3	2	2(1)	1
日本体育大学	5(1)	1		4	1
日本薬科大学		4			
フェリス学院大学		1	1(1)		
文教大学	18(2)	5	7	3	5(1)
星薬科大学	1				
武蔵大学	8	10	1(1)	2	4
武蔵野大学	8	21(9)	2	3	3
武蔵野音楽大学			1	1	
武蔵野美術大学	3	1		1(1)	
明治学院大学	9(1)	9(1)	8(2)	4	3
立正大学	9	5	8(2)	3	1
麗澤大学	12(1)	2	1	8	4
その他大学	97(5)	57(2)	72	76(5)	55(7)

進路別割合(現役のみ)



系列大学への進学

流通経済大学 学部・学科別 内部推薦内訳

学部	学科	2022	2021	2020
経済	経済	5		8
	経営	6	6	10
社会	社会	7	9	2
	国際観光	6	4	9
流通情報	流通情報	2	4	0
法	自治行政	10	8	10
	ビジネス法	10	7	11
スポーツ健康科学	スポーツ健康科	31	14	18
	スポーツコミュニケーション	6	7	5
合計		83	65	73

進路別割合(現役)

進路	2022	2021	2020
四年制大学	84.9%	82.1%	82.5%
短期大学	0.7%	0.8%	1.6%
専門学校	5.7%	7.2%	5.8%
進学予備校	6.4%	6.7%	7.1%
就職	1.4%	2.1%	2.1%
海外留学・その他	0.9%	1.1%	0.8%

卒業生の声 「憧れの先輩たちのように、挑戦する気持ちを忘れない」

目標をもって3年間を学ぶことで夢は必ず叶うはず。チャレンジ精神を持ちながら、自分の目標に向かって努力し夢を叶えた先輩たちからのコメントは、勉強へのモチベーションをより一層高めてくれるはず。



一橋大学 経済学部

普通科
特別進学コース

赤金龍之輔 AKAGANE Ryunosuke

将来を見据え進路決定をすることができました

私はレベルの高い環境でサッカーをやりながら、難関大学に合格するための学力を身につけたいと思い、特別進学コースに入学することに決めました。部活動の練習と寮生活の中で受験勉強に向き合うことは大変で、辛いと思う時もありましたが、部活のスタッフや、先生方の助けや励ましのおかげで目標を見失わずに過ごすことができました。サッカーと勉強に明け暮れた日々は、他では絶対に経験することができない有意義な時間でした。



お茶の水女子大学 文教育学部

普通科
特別進学コース

栗原萌夏 KURIHARA Moeka

受験は自分自身と向き合う絶好のチャンス

私が所属していた特別進学コースでは個性的で良い友人にたくさん恵まれました。同じ志を持つ同級生たちと日々、切磋琢磨し、勉強や将来に対して高いモチベーションを維持することができました。受験は自分自身と向き合う絶好のチャンスであると私は考えます。合否はもちろん大切ですが、これから何をしていきたいのかを追求する姿勢を大切にしたいと思います。



熊本大学 医学部

→医師(国立病院機構千葉医療センター)

普通科
特別進学コース

金潤実 KIM Yunshil

クラスの友人や先生に支えられた高校時代

医師の方による講演会を通して、この職業に魅力を感じ、医学部進学を決意しました。その後、目標に向けて朝早くから夜遅くまで勉強をしましたが、辛く苦しい時期を支えてくれたのがクラスの友人と先生でした。流経大柏はコースごとに様々な目標を持つ人が集まる学校です。熱心で生徒思いの先生がたくさんいらっしゃるので充実した学校生活を送りたい人にはぴったりだと思います。



流通経済大学 経済学部

→日本通運株式会社

普通科
スポーツ進学コース

高橋廉蔵 TAKAHASHI Renzo

高校時代の経験が今に生きています

私は長野県からスポーツ進学コースに進学し、野球部員として寮生活をしながら過ごしました。全国から夢を抱いて生徒が集まり、スポーツで活躍するために夜遅くまで主体的に練習していたり、将来の目標のため放課後黙々と勉強に取り組んでいた同級生が数多くいて、当時の私にはとても刺激になりました。様々な価値観や意見を取り入れる経験ができ、グローバル企業とされる当社において仕事をする上で、言葉以上に意味あるものを高校時代に得ることが出来ました。

国際交流

International exchange

多様なプログラムを設定し 国際交流を育んでいます

グローバル化がすっかり定着してきましたが、本校では開校当初から時代の変化を見据えて国際交流に力を注いできました。これまで、毎年夏休みには希望者を対象に、アメリカ、オーストラリアなどに約3週間の語学研修旅行を実施してきました。また、1999年からは、フランスのリヨン市にある、ソルボンヌ大学やパリ大学に多数進学する名門校・オンブローザ校との短期交換留学を行い、現在も継続して交流を深めています。さらに、本校独自のニュージーランドへの語学研修（希望者）も実施しています。

（国際情勢などの理由により変更になる場合があります。）

OMBROSA [フランス]



ニュージーランド語学研修（希望者）

ニュージーランドの家庭にホームステイしながら、語学をはじめ、さまざまな異文化と触れられる語学研修が実施されます。南半球にあるニュージーランドは豊かな自然や酪農が盛んで治安の良い安全な国です。本校独自のプログラムで行うもので、滞在期間は短い（約2週間）ですが、前後に留学のための英語学習（必修）が組み込まれているのが特徴で、単なる体験だけでなく、これを大学入試の合格に結びつけることを視野に入れて実施するものです。現地の生徒とのコミュニケーション、ホームステイ先を通して体験するニュージーランドの習慣、暮らし、文化。語学力を磨くとともに、世界の多様性が身をもって体験できる貴重な語学研修です。

（国際情勢などの理由により変更になる場合があります。）



海外からの留学生・研修生の受け入れ



OMBROSA校からの留学生 ジャンス

流通経済大学と連携して行っている国際交流もあります。同大学と国際交流協定を結んでいる海外の大学の学生が本校を訪れたり、スポーツ振興で招いた国の生徒や子供達が本校生徒と交流する機会も増えつつあります。

南オレゴン大学の学生との交流（2018年）

ネイティブイングリッシュティーチャーLUCIUS先生の少人数の授業

右の写真は、アメリカの大学生、ラオス、ベトナム、フィリピンの少女が来校して、英語や体育の授業に参加したものです。



UNIFORMS

伝統のネイビーブレザーの胸に流経のエンブレムが刺繍されています。女子は白と紺のスカートの基本とし、スラックスも用意されています。男子は紺のスラックスを合わせます。



流通経済大学への 付属高校特別推薦

流通経済大学付属柏高校の生徒は、流通経済大学の全学部・全学科に本人の希望に応じて付属高校特別推薦（条件はありますが、大半は可能です）で進学することができます。実学主義を教育の柱とする流通経済大学は、「就職に強い大学」としても定評があり、卒業生はさまざまな分野で活躍しています。付属高校特別推薦は全コースに適用され、毎年、多くの生徒が流通経済大学に進学しています。

学校法人 日通学園

流通経済大学

経済学部	経済学科/経営学科	社会学部	社会学科/国際観光学科
流通情報学部	流通情報学科	法学部	ビジネス法学科/自治行政学科
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科/スポーツコミュニケーション学科		
大学院	経済学研究科/社会学研究科/物流情報学研究科/法学研究科/スポーツ健康科学研究科		

流通経済大学付属柏高等学校

全日制普通科	特別進学コース/総合進学コース/スポーツ進学コース
--------	---------------------------

流通経済大学付属柏中学校（2023年度開校予定）

Withコロナ、Afterコロナ時代の新たな学校づくり

安全・安心の取り組みについて 生徒一人ひとりの安全と安心を確保するために、さまざまな取り組みを行っていきます。



- 徹底した感染症予防対策
- 緊急時には家庭に一斉発信
- 防犯カメラの設置
- 保健・衛生管理の徹底
- 安全帰宅マップの作製
- スクールバスの運行
- 登下校管理システムの導入
- 心の病やいじめ問題にも迅速に対応
- カフェテリア兼食堂

建物についても、災害時の避難所と同等の耐震性能を有し、衛生面などにも配慮しています。感染症対策では、手洗い自動水栓、手洗いの多数設置、換気量・空調能力の増強、抗菌・抗ウイルス建材の採用や上下二足制などの対策が施されています。

環境・施設

Surroundings

緑あふれた豊かな自然、アカデミックな環境
学習へのモチベーションもより高まる

アカデミックな学園都市・柏の葉キャンパス

つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅よりスクールバスが運行(東武アーバンパークライン江戸川台駅の両駅から運行)しています。柏の葉キャンパス駅周辺には東京大学柏キャンパスや千葉大学柏の葉キャンパスなど時代をリードする研究・教育施設が集まっています。駅を中心とした広大な地域で公共×民間×大学が連携して、「国際学術都市」、「次世代環境都市」を目指した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」が進行しています。



つくばエクスプレス 柏の葉キャンパス駅前



東京大学柏キャンパス

流通経済大学附属柏中学校
[2023年完成予定]

四季折々の自然が織りなす緑豊かなキャンパスも本校の自慢のひとつです。82,000㎡の広々としたスペースには、生徒が全力で勉強、スポーツ、行事などに取り組めるよう様々な設備が施されています。校舎棟の1号館・2号館は、HR教室、特別教室、自習室、図書館などが設置されており、1年を通じて生徒が快適な環境の中で学力を育むことができるように冷暖房の完備も万全です。また、部活、体育の授業、学校の行事などを中心に利用されるスポーツ施設も、屋内外ともに充実しています。屋内には2つの体育館、弓道場、最新のマシンが配置されたトレーニングルーム、全天候型人工芝の2つのグラウンド、硬式野球場、その他多目的グラウンドが整備されているなど、恵まれた環境です。



スクールバス・ロータリー



校舎棟2号館



校舎棟2号館 特別教室



図書・メディア棟 [RYUKEI LINKS] 2・3階(内観イメージ) 2023年 完成予定



第2グラウンド



テニスコート



野球場

登校時から学校生活における様々な感染防止対策



カフェテリア

校舎棟2号館の1階にはゆったりとした空間の陽光そそぐおしゃれなカフェテリアがあります。店内には、カラフルな色合いのイスが並べられており、244人がのびのび座ることができます。女性の店長、管理栄養士の資格をもつスタッフたちが提供してくれるたくさんのメニューは、カロリー、栄養、味、どれをとってもピカー。食べ盛りの胃袋も満足できるはずです。

